

2025 年 6 月 30 日

株式会社 HEMILLIONS

ソフトマックスおよびソフトバンクと医療分野における生成 AI 技術の社会実装に向けて共同検討を開始

株式会社 HEMILLIONS（以下「HEMILLIONS」）は、ソフトマックス株式会社（以下「ソフトマックス」）およびソフトバンク株式会社（以下「ソフトバンク」）と医療分野における生成 AI（人工知能）技術の社会実装に向けた共同検討について基本合意書を締結しました（以下「本取り組み」）。

本取り組みは、医療情報の標準化や流通を推進する HEMILLIONS が、医療機関向けにクラウド型電子カルテを提供するソフトマックス株式会社と、東京大学大学院医学系研究科 医療 AI・デジタルツイン開発学講座と共同で大規模言語モデル（LLM）を用いた医療文書の作成に関する AI 技術の研究開発を行ってきたソフトバンクと事業化を検討することで、LLM を用いた医療文書作成ソリューションの費用対効果を可視化し、生成 AI 技術を医療現場で活用されることを目指すものです。

近年、医師の労働時間に対する規制が厳格化され、医療現場においても働き方改革が求められています。一方で少子高齢化に伴う患者数の増加や医療費の高騰が見込まれており、医師の業務負担は一層深刻化しています。特に医療文書の作成業務は多くの時間と労力を要し、医師の本来の診療業務を圧迫している大きな課題です。こうした背景を踏まえ、本取り組みでは、LLM の技術を活用することで、医療文書作成の効率化を図り、医師の負担軽減と労働時間削減を目指します。このような先進技術の導入は、医師の働き方改革を支援するとともに、質の高い医療提供の持続可能性にも貢献するものです。

ソフトマックス、ソフトバンク、ならびに HEMILLIONS は、LLM などの AI 技術を活用し、電子カルテシステムの高機能化および新機能の開発、さらにデータの標準化・利活用を通じて医療 DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進することで、医療費の削減や医療従事者の働き方改革を推進し、持続可能な社会の実現を目指します。

この目的達成に向けて、各社は患者情報を基に医療文書を生成する LLM を搭載した電子カルテの共同開発に向けた検討を開始しました。

今後は、研究成果の商用化および社会実装に向けて、モデル病院において **PoC**（概念実証）を実施する予定です。この **PoC** では、サービスの費用対効果や実際の運用上の課題を評価し、実用化に向けた検証を行います。これにより、医療現場での導入可能性を具体的に示し、より広範な展開を目指していきます。

本取り組みが進展することで、医師の時間外労働が削減され、過重労働の改善につながると考えます。その結果、医師は診療や患者の治療により専念できる環境が整い、医療の質の向上に寄与することが期待されます。